

人がつながる 地域がつながる 社会がつながる  
つながりたい かけがえのないあなたと

## 法人設立五周年を迎えるにあたって

当法人は四月八日、法人設立五周年を迎えます。元をたどれば、二〇〇九年一二月に、有志が分野・職種・役職を越えて個人で集まり、膝を突き合わせて語らえる場、「福祉の仕事人協力会ゆるゆるネットワーク」活動が始まりました。それから約一〇年、地道に勉強会を二か月毎に開催し学び合いを重ね、二〇一四年に特定非営利活動法人ゆるネット(現リンク)を設立し活動を強化、勉強会や福祉人材への種まき活動、住民参加の地域コミュニティ活動を行ってきました。二〇一八年度からは、地域福祉活動を本格的に始動、中核地域生活支援センター事業及び障害者グループホーム等支援事業(千葉県委託事業)や生活困窮者自立相談支援事業(千葉県・大網白里市委託事業)等の事業を行うとともに、障がい児者の相談支援事業所を開始しました。

このような活動を続けられて



いるのは、当法人に興味を持っていただき、活動に参加していただいた皆様がいてくれたからであり、また、私を含めた現職員を育てて頂いたすべての関係者の皆様がいたからです。そんな皆様のご期待に応えるべく、今年度は、「ひきこもり当事者・家族の支援(山武市市民提案型交流のまちづくり推進事業・大網白里市住民協働事業)」や山武地域の社会資源の創設に努めていきますので、引き続き当法人へのご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人リンク  
理事長 吉井 稔

新事業  
「ひきこもり支援」  
「誰もが安心して生活できる地域づくりを目指して」を始めます!

山武市市民まちづくり推進交流事業ならびに大網白里市住民協働事業の採択を受け、二〇一九年より両市で「ひきこもり支援」誰もが安心して生活できる地域づくりを目指して「ひきこもり」を実施します。主な支援活動メニューとして、「ひきこもり」「思春期」「8050問題」等をテーマにした市民公開講座や「ひきこもり当事者」「家族」「支援者」のための居場所づくり(愛称「まいぷれ」)を行います。日程や会場等の詳細は、法人ホームページ、両市広報誌等でお知らせいたします。

自分だけ・自分たちだけで悩みを抱えることなく、一歩踏み出すきっかけになればと思います。

# 新事務所へ移転

永らくご来訪頂いた山武市富田事務所からこの度、山武市津辺に移転する運びとなりました。四月からは来所される皆様から分かりやすく、また車でも電車でも便利な場所です。新事務所の建物は、白壁と木材を使い自然を意識した佇まいになっており、来所されて気軽に歓談できるスペースも用意してあります。新しい事務所となりリンクは、より多くの分野に対応できる相談支援体制を整えていきます。広い窓が特徴の新しい事務所から、様々な人・地域・環境へと、さらにつながっていきたいと思っております。皆様の来所をお待ちしております。

## 法人事務局      山武事業所

- 中核地域生活支援センター事業    さんネット
- さんび生活相談センターリンクサポート
- 千葉県障害者グループホーム等支援事業
- よろず相談センター    ぬくもり



お車の場合  
国道126号線をご利用ください  
電車をご利用の場合  
成東駅下車 徒歩7分

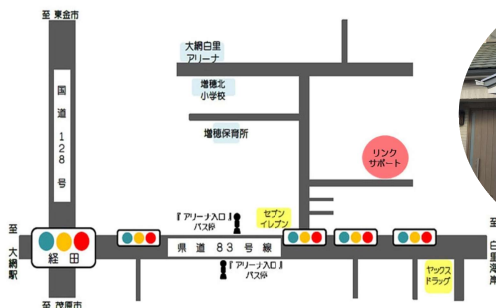
〒289-1345    千葉県山武市津辺171-1  
TEL : 0475-77-7531  
FAX : 0475-77-7538



## 大網白里事業所

- 大網白里生活相談センター  
リンクサポート

〒299-3221  
千葉県大網白里市富田2130-7  
TEL:0475-72-5439  
FAX:0475-72-5452



## 編集後記

法人設立五周年。「ゆるゆるネットワーク」活動から一〇年。新しい年号や新事務所など、様々な意味で節目の年となります。期待が膨らみますが、慎重さも持ち合わせたいものです。  
「ゆるゆる」や「ポレポレ」など、言葉の響きが面白く、会話などに使うことが多くあります。自身にも、ゆとりや冷静さが欲しいとき、ぶつぶつ呟いて、気持ちを落ち着かせます。  
春という、新しい節目の季節。ゆるゆるといきましょう。  
(広報班)

### 発行元



特定非営利活動法人リンク

〒289-1345  
千葉県山武市津辺171-1  
TEL : 0475-77-7531  
FAX : 0475-77-7538

## 千葉県障害者グループ ホーム等支援事業

障害者グループホームは、年を経るごとに、全国的に増加しました。全国百か所から始まったグループホームも九千か所※を超え、その制度も変わってきました。

グループホームを利用したい本人や家族のニーズ、事業者の思い、それぞれが反映され、障害のある人たちが自分らしく地域の中で暮らしています。障害者グループホーム等支援事業を受け継いで一年、この先、増えていくグループホームで利用者が周りの地域とうまく暮らしていけるよう、支援したいと思っています。

千葉県内のグループホームワーカーと情報を共有したり、開設セミナーや講座を開催し普及啓発を行ってまいります。

(※グループホーム、ケアホーム合計)

平成二五年一〇月時点 WAMNET



(須藤)

## 指定特定相談支援事業・ 指定障害児相談支援事業 よろず相談センター

ぬくもり

今、この圏域では、いくつかの相談支援事業所があります。以前に比べると事業所も増え、利用する側にとっては、どの事業所にお願ひしようか、選ぶこともできるようになりました。そういった意味では、とても良いことだと思っています。

相談支援専門員も少しずつ人数が増え、一人一人の相談にじっくり取り組めるようになるのではないかと思っています。

数年間、相談支援の仕事をしてきて思うことは、人脈の大切さです。自分がどうしようか困ったときに、相談できる人がいること、相談できる場があることが、とても大切だと日々思っています。

これからも、そのような人脈を大切にしながら、一人一人に寄り添った支援をしていきたいと思っています。

(押尾)

## news

### 日本テレビ 24時間テレビ車輦寄贈

全国三一の民間放送局で構成される二四時間テレビチャリティー委員会より、昨年八月二五日、二六日放送した二四時間テレビ「愛は地球を救う」を中心として、全国の皆様より寄せられた寄付金の中から、福祉車両(写真)の贈呈を受けました。

これを受けて昨年一二月二日(水)に日本テレビで行われた贈呈式に行ってまいりました。



私どもの活動する地域は、交通の便が悪く、高齢・障害のために外出が困難な方が多く見受けられます。この車輛を活用して、一人でも多くの方々が地域交流、社会活動等に積極的に参加することができるよう、お手伝いをさせていただければと思います。



## 地域とリンク活動

千葉県中核地域  
生活支援センター

さんネット

中核地域生活支援センターは、二〇〇四年から総合的な福祉の総合相談と地域づくりに取り組み、平成二九年度の実施要綱の改正によって「市町村等バックアップ事業」も加わり、まさに「千葉県にしかない事業」として圏域の地域課題・相談支援を行なっています。

二〇一八年度から当法人が事業を引き継ぎ、新たな船出となりました。関係機関並びに地域の皆様には、ご迷惑をおかけしたことと思いますが、前受託法人の意思を受け継ぎ、山武圏域の地域活動に職員力をあわせて取り組んだ一年となりました。

一月には「地域共生社会を本気で考える」をテーマに「山

武がつながる相談支援ネットワーク交流・研修会」を開催し、多職種が互いの専門領域を知ることと日頃の相談支援の充実を図り、地域の課題を「自分ごと」として捉えることができるきっかけづくりの場を実行委員と作ることができました。

このような活動を一つ一つブラッシュアップさせ、二〇一九年度は、山武郡(三町)での「地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定と実施に向けた仕組みづくりを行政と共に考えること、山武市・大網白里市での「ひきこもり支援・家族支援」地域づくり」を展開していくこととなります。常々、「地域づくり」は、私ども中核地域生活支援センターだけでは成し得ないことで、地域の皆様と知識・経験・思いを共有し、そこで初めて取り組めることだと思っ

います。

改めて、二〇一九年度より、この山武圏域の相談支援・地域福祉の充実を関係機関並びに地域の皆様のお力をお借りして職員一同取り組ませて頂きます。

(赤堀)



Link = つながる

生活困窮者自立相談支援事業

大網白里生活相談センター

リンクサポート

さんぶ生活相談センター

リンクサポート

リンクサポートには日々、様々な相談が寄せられます。仕事・住まい探し、借金問題、病气・介護、子育てから結婚の相談まで…。長い人生には

思うようにいかない、ままならないことがあって立ち行かなくなることもある訳で、苦悩しても誰にも相談できず時だけが過ぎてしまう…私達へ支援を依頼される方々の生活が少しでも豊かになるよう私達もない知恵を絞って、ひねり出す努力をしています。

私達は相談者の声に耳を傾け、課題を整理し、その方の思いに添えることができるよう支援計画を立てて支援しています。ですが、実現のためには相談者は勿論、多くの機関の方々の協力が必要です。そして相談者の持っている力を引き出し、自律性を高め真の自立を促進させたい。そのために私達は相談者と共に走り続けていきたいと思っています。

(高橋)

